11.2.25
339

面白くて有益な『勞働週報』をお讀みなさい

◇永らく渇望されてゐた『勞働週報』が、今度いよ〳〵生れることになりました。

◇『勞働週報』は日本及び世界の勞働運動の正確なそして統一的な報導機關です。

◇此の新聞を讀んで居れば、工場勞働者の、農業勞働者の、鑛山勞働者の、自由勞働者の、船、汽車、電車で働いて居る人々の、教員、官吏、事務員の、事務室婦人、工場婦人、家庭婦人の、それ等の生活の狀態、衰心の叫び、その表現としてのいろ〳〵の運動のすべてが手にとるやうにはつきりと判ります。

◇『勞働週報』は又、一般勞働者の心を慰め、顧ます爲の週新な娯樂機關なのです。社會讀讀や、寫眞小說や、活動の說明や、勞働歌や、それに第四欄句や、無産者都々逸、勞働お伽や、時代一口話など、面白いものが滿載されます。

◇日刊新聞の外國電報や政治、經濟の一般報導は、込入つてゐて、一般讀者には何が何やら判らない、それに日刊では『早いが勝だ』と先を爭ふ風があつて、僞や、誤が有勝です、週報は、一週づゝ纏めて筋をたどつて間違ひのないところを十曜日の夕刻に讀者におめにかける故、事件の成行きがハッキリする。『勞働週報』は特に此の點に注意してゐます。

◇月一回の附錄は、其の道の先輩達が、經驗を語して、社會問題、勞働運動の一般理論を簡單に平易に何人にも合點の行くやうに說明した、言はゞ紙上の勞働學校です。

◇購讀料は配布料とも一ケ月金參拾錢半ケ年前金同壹圓六拾五錢一ケ年前金參圓です。一は御名々の御便宜の爲に、一は此の事業の成功をお助け下さる意味で、ぜひあなたの御購讀をお願ひしたいのです、そしてなるべく廣くお知り合ひの方々へ御振奬に預りたいのです。

□編輯委員

造機船工勞組合　高山治郎
東京鐵工組合　市村光雄
東京電氣及機械鐵工組合　内田源藤七
東京洋服技工組合　小原勘十
全日本鐵夫總聯合會　加藤國吉
日本機械技工組合　熊田壯一
日本浦機械勞働技工組合　鈴木和逸
芝工組合　高田貞吉
相鐵組合　福田秀一
日本見習工組合　岡崎金次郎
日本坑夫總同盟　松岡吉郎
日本鐵工組合　駒田浩三
時計色工勞働同盟　渡邊政之助
日黑聯合會　山本懸藏
東京勞働組合　全拾太郎
正進會　木安達古賀
日本勞働組合　堺利彦君
黑色勞働組合　山川均君
日本鐵工組合　長谷川萬次郎君

新聞組合　阿部磯雄君
織物組合　稲葉平太郎君
勞働組合　岡澤邦三郎君
親友會　大島隣造君
陸運組合　狩野鐵太郎君
組合　下中彌三郎君
日本勞働組合　田口急藏君
信濃交通勞働者組合　高山久藏君
純正勞働者組合　横田次郎君
相模造船工組合　中西伊之助君
造船工組合　藤田浩一君
横濱本牧勞働組合　倉田榮一君
日本勞働組合　和田守太郎君
信濃勞働組合　平澤計七君
純正勞働組合　立泰君
相模造船工組合　横田晃君
日本勞働組合　中島雄三君

□客員としての執筆者

長谷川萬次郎君　新居格君
山川均君　山川菊榮君
堺利彦君　佐野學君
北澤新次郎君　鈴木文治君
堀江歸一君
木安磯雄君
外村茂君
久數一君
名君

創刊號＝大正十一年一月四日發行
發行所　勞働週報社
京橋區銀座二丁目六
電話京橋三九一二六番